

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成28年8月の安らぎ通信



津波検知 最大20分早く 気象庁、海底観測計4倍に増設

気象庁は、東北・関東地方の太平洋側や四国・紀伊半島沖の海底に設置した津波計156機データ運用を始めると発表しました。海底津波計は従来の約4倍となります。

より沖合で測る体制となり、最大20分程度早く津波を検知できます。

(2016年7月22日 日本経済新聞記事から抜粋)



戸建て、耐震性競う

三井ホーム 耐力壁の強度アップ ミサワ 制振装置を標準装備

戸建て住宅大手が地震に強い商品の開発・販売に力を入れ始めました。熊本地震で消費者の地震対策への関心は高まっています。

三井ホームは新たな耐力壁の開発に乗り出しました。既製品を改良して強度を高めた試験品では、薄い木片を接着して圧縮した構造用壁材を使います。

揺れで生じるズレに耐える力などが優れ、強度は国が定める3段階の耐震等級で最高の「3」（建築基準法の耐震性能の1.5倍）の水準を上回ります。

ミサワホームは制振装置の搭載率を高めます。独自のゴムが地震エネルギーを逃がして揺れを半減します。

国土交通省の推計では、マンションも含む住宅のうち、1981年に導入された現行の新耐震基準と同等の耐震性能を持つ家は2013年時点で約82%。国は2020年に95%を目指しています。

(2016年7月23日 日本経済新聞記事から抜粋)



「震度6強で倒壊」なお397棟

公立小中、耐震化率98.1%

文部科学省は、全国の公立学校の耐震状況について調査結果を発表しました。

公立小中学校の校舎や体育館のうち、「震度6強の地震で倒壊する危険性が高い」建物は397棟でした。これらを含む「耐震性がない建物」は全体で2228棟で、耐震化率は前年に比べ2.5ポイント増の98.1%でした。

(2016年7月27日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781